

戦後の地域の歴史と個人の歴史

講師

安岡 健一 さん (大阪大学／歴史研究所顧問研究員)

飯田市役所C棟3階会議室 (オンライン受講併用)

12月6日 **土**

戦後の農業・農村

第1講 13:30～15:00

「満洲開拓から戦後開拓へ」

第2講 15:15～16:45

「健康な暮らしのための活動」



12月7日 **日**

個人の歴史の意義

第3講 9:00～10:30

「オーラルヒストリーとは何か」

第4講 10:45～12:15

《個人の記憶を回想するグループ活動》

※第4講は会場参加のみになります。



お 申 込 み

- Web フォームまたは電話・FAX・メールでお申込みください。1 講義のみのご参加も可能です。
- 申込締切：12月3日 (水)
- 資 料 代：500 円 (高校生以下無料)

1. Web フォームでお申込み

歴研ホームページまたは右QRコードから、申込みWebフォームに必要事項をご記入ください。

Web フォームはこちら ▶



2. 電話・FAX・メールでお申込みの場合

お申込みの際に必要な事項①～④をお願いします。

<必要事項>

- ①受講方法(会場・オンライン) ②氏名(ふりがな) ③電話番号
- ④オンライン受講はメールアドレス、郵便番号、住所



飯田市歴史研究所

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山 538
TEL0265-53-4670 FAX0265-21-1173
E-mail : iih@city.iida.nagano.jp

戦後の地域の歴史と個人の歴史

■ 講師より

今回は大きく2つの内容を扱います。1日目は農村の話題です。①敗戦直後に国策として始まった戦後開拓とはどのようなもので、満洲開拓とはどうかかわったのでしょうか。②長寿県として知られる長野県ですが、自然にそうなったのではなく様々な活動の蓄積がありました。健康に生きるため、どのような活動があったのでしょうか。

2日目は個人の歴史を記録する方法と、そのことが持つ意義について考えます。オーラルヒストリーなどを学んだのち、「回想」活動として参加者がそれぞれの歴史を振り返り、他の参加者と話す時間を設けます。これらを通じて、参加者が今と地続きの現代史について考える機会にしたいと思います。

■ Key Word

「戦後開拓」

戦後に行われた農地開拓事業。食糧増産や就業確保といった背景のもと国策として行われました。

「オーラルヒストリー」

人々から直接話を聞き取り、その記録を歴史としてまとめることです。

■ 講師プロフィール

やすおか けんいち

安岡 健一さん

1979 年生まれ。専門は日本近現代史。著書に『「他者」たちの農業史—在日朝鮮人・疎開者・開拓農民・海外移民—』（京都大学出版会、2014 年）、監修した書籍に大阪大学日本学専修「コロナと大学」プロジェクト編『コロナ禍の声を聞く 大学生とオーラルヒストリーの出会い』（大阪大学出版会、2023 年）がある。

☆飯田アカデミアは、飯田・下伊那の歴史や現在を広い視野から考えるため、歴史学の研究者などを招いて、その研究成果を紹介するものです。これまでの開催履歴については、歴史研究所ホームページおよび右のQRコードよりご覧ください。



飯田市歴史研究所

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山 538
TEL0265-53-4670 FAX0265-21-1173
E-mail : iihrr@city.iida.nagano.jp